



<アプロンII> + <マルチスライド工法> 施工事例



工事名称：国土交通省保守工事
施工場所：山口県下関管内

★バス停留所－待機場所の設置★

今回の施工事例は歩道部が狭く、車通りが多い場所にあるバス停留所の拡幅工事でした。

道路は全線通行止めができず、歩道側には線路もあり、片側規制で施工できる製品・工法の張出歩道<アプロンII>+横引き工法<マルチスライド工法>が採用されました。

現場制約がある中でも工法と組み合わせることで対応が可能にしました。

ご要望に応じた組合せを提案させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

(Writing By Yamaguchi B.0 Ito)



施工前



施工中

商品情報

カルバート

分割ボックス・可とうボックス (A) ・アーチカルバート・ボックスカルバート・ベベルカルバート (A) ・門型カルバート・耐震性貯水槽・防火水槽・遊水池 (A) ・ミニゲート・排水処理槽・etc.

擁壁

E・スタックウォール (A) ・スタックウォールV・キャッスルウォール (A) (A) ・ポラメッシュ (A) (A) ・GLウォール (A) ・UMウォール G (A) ・多数アンカー式補強土壁工法 (A) ・ストックヤードブロック (A) ・ジオセル工法 (A) ・HDウォール・ダムウォール (A) ・プレキャスト防護柵・etc.

環境保全型

親緑・親緑ステア・ポラポット (A) ・プロテクトⅢ型・のぼろくん・魚道・おさかなステーション (A) ・フリュームピオタイプ (A) ・etc.

道路

FV側溝・スラット側溝 (A) ・エルドレイン (A) ・トンネル監査廊用側溝 (A) ・矩形断面側溝 (A) ・DR²側溝・SK側溝・ピュアドレイン・ピュアドレイン ミニ (A) ・アプロンII (A) ・簡易床版・パワースラブ・オーバーハングブロック・ロードプラス (A) ・フレガードII (A) ・簡易床版基礎台・組立マンホール・自在R連続基礎 (A) etc.

水路・農林

SSS-II/Ⅲ型フリューム・多機能U型水路・水路用L型・組立水路・フリューム・角/ベンチフリューム・底樋管 (A) ・組立式階段 エパレート (A) ・フレックス笠コンブロック (A) ・ゴビマット (A) ・張りブロック・etc.

特殊工法

トップベース工法<マイ独楽> (A) ・リフトローラー工法 (A) ・マルチスライド工法 (A) ・OSJ工法 (A) (A) ・TSKJ工法 (A) ・サイミックス・更生工法 (A) ・エレベータ昇降路・油水分離槽・コーティング工法 (A) ・クロロガード (A) etc.

(A)=ARIC (A)=NETS : 掲載終了技術を含む

垂直擁壁【ポラメッシュ】のカーブ施工事例

垂直擁壁【ポラメッシュ】のカーブ施工事例を紹介させていただきます。

本現場はしまなみ海道の尾道から渡って2番目の島、因島にある「白滝山」の白滝フラワーラインの道路崩落箇所においてポラメッシュを採用していただき、カーブ施工をしていただいた現場です。白滝山は頂上の展望台から瀬戸内の大パノラマが楽しめる眺めの素晴らしさなどから、しまなみ海道を観光される旅行者からも人気のスポットです。

本現場は、林道でカーブが連続する登り勾配の道路の一部崩落箇所での施工で、また現場の直下は崖になっていて下からのレッカー作業ができない等の条件から、カーブ施工が可能で部材が軽量の垂直擁壁であるポラメッシュを御採用頂きました。

施工にあたっては、崖上のカーブ施工という悪条件の中、施工業者様による綿密な測量のもと、かなり多くの丁張りをかけて頂くなどで、綺麗なカーブ施工の垂直擁壁が完成しつつあります。

ポラメッシュはこのような悪条件でも垂直擁壁を構築する事ができる便利な擁壁です。こんな条件の現場だけどポラメッシュができるだろうか？など検討をご希望の際は、最寄りの営業所までお気軽にお問い合わせください。

(Writing by Onomichi B.O Teshima)



施工場所：広島県尾道市因島
施工主体：尾道市
施工業者：(有)天海建設

尾道営業所 手島です。尾道から四国今治を結ぶしまなみ海道は「サイクリストの聖地」として有名ですが、メインルートで島並みを巡っていくオプションとして、瀬戸内の大パノラマが楽しめる山登りを組み入れるサイクリストも多くおられます。

向島には高見山、因島には白滝山や水軍スカイライン、大島には亀老山などがあり、頂上に展望台がある山では360°瀬戸内が見渡せる絶景が楽しめます。特にサイクリストの中でも足自慢の猛者の方々は、頂上に到達した時の達成感や頂上での眺望、また絶景を見ながらの下りの爽快さを楽しむために山登りを好んで組み入れるようです。足自慢のサイクリストの方々は、ぜひ挑戦してみてください。(写真は因島フラワーラインより望む因島大橋)

